

みのり句会 兼題『大根』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

大根のみずみずしさや舌の上 野口 貴美子

(評) 旬の大根を味わいながらみずみずしいと感じて食事をしている作者、旬の作り方の自然さが伝わってくる佳句。

◇ふたまたの大根かかげ大笑ひ

(あいうえお順)
秋草 君枝

◇農協の葉付大根朝の市

石川 れい子

◇大根葉下に小さな白見えて

江刺 厚子

◇子供等の大根堀りに笑顔あり

小野瀬 俊江

◇大根のみそ田楽があう頃

菅野 信子

◇この椅子は私の居場所聖夜かな

瓦崎 八重子

◇大根を両手に下げて急ぎ足

白木 弘子

◇煮含める大根の葉のよき苦み

田中 弘子

◇空っぽの皿あ大根は旨し

中村 くみ子

◇焼魚大根おろし旨い酒

榎 卓

◇掘りたての大根洗ひたる白さ

福島 テツ子

令和七年一月新年句会は「飾納(かざりをさめ)」です。

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、百十円切手

三枚(参加費)、返信用封筒(百十円切手と記名)を同封して月末迄に

「事務局」に届くようにお送りください。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年 「稲城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年 「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

「現在の活動」

- ◎配食サービス
(東長沼の拠点で週5回 月々金)
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ 梨穂
(公共施設等 9会場で開催)
- ◎ミニデイサービス「たまりば」
- ◎稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動(会報・ブログ) など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。